



千葉労働動力

国鉄千葉動力車労働組合

〒280 千葉市要町2番8号(動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 千葉 (22) 7707 番

91.1.14 No. 3332

空港特急は百害も一利なし!

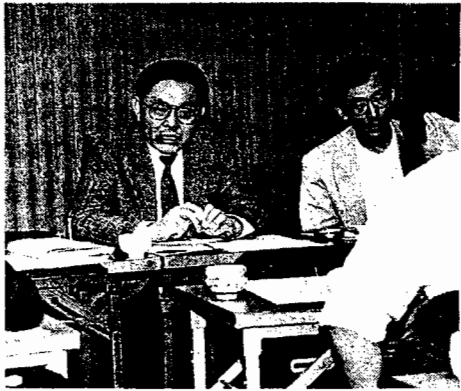
空港アクセスのために 住民を犠牲にするな

一月十日、動労千葉申6号に対する団体交渉が開催された(日刊動労千葉三三三〇号参照)。団交のなかでは、とりわけ、地域住民を犠牲にする「成田エクスプレス」の設定について、再考を求めたが、当局の対応は、何ら具体的な理由を示すこともなく、あくまでも提案どおり実施することだけを繰り返す、全く不誠実なものであった。

使って、ノンストップで走らせる、という列車の設定自身が、今までに例のない極めて非常識なものに他ならない。

この成田エクスプレスの設定によって、県内の交通体系は抜本的に変わることになる。要するに、地域住民にすべての犠牲をおしつけることによつて空港アクセスを確保しようとするやり方が、今回のダイヤ改正なのである。まさに、県民は、まったく利用することのできない百害あって一利のない列車がわがもの顔に突走ることになるのだ。

怒りの記者会見を行う中野委員長と田中書記長



会見する千葉動労の中野委員長

千葉動労(組合員約七百五十人)の中野委員長は十一日、千葉市要町の動力車会館で会見し、今春に予定されているJRダイヤ改正に対して「地域住民を犠牲にする列車設定」として反対していくとともに、労働関係調整法に基づきストライキの事前通知書を労働大臣あてに提出した。

千葉動労によると、今年三月に予定されているダイヤ改正で新設される「成田エクスプレス」が千葉駅をはじめ県内ノンストップで運行される事になった点について「地元

成田特急の千葉駅通過

「改正は住民犠牲」

動労千葉がスト予定

書を出した。

スピードアップでさらに危険増大(1/12付千葉報)

総武線は 空港専用線じゃない

(第一の問題点は)通勤・通学輸送が犠牲にされることである。現在でも、総武線の通勤通学輸送は、飽和状態である。しかも、今回の成田エクスプレスの設定によって、千葉―佐倉間の列車設定は、完全に許容量に達してしまふことになる。現在でも、都賀駅など毎朝乗り残しが出るような状態のなかで、今後確実に人口が増えるであろう成田線、総武本線の通勤・通学の足は空港アクセスのためだけに犠牲にされることになるのである。

(第二の問題点は)成田エクスプレスの設定によって、内・外房特急が京葉線に追い出されることにともなう、千葉駅乗降客の交通の便が犠牲にされることである。千葉駅は、あらゆる意味で、県の要衝でありながら、ほとんど特急列車が止まらない駅となる。これは、成田エクスプレスに自由席車両を増結して千葉駅に停車させれば、基本的に解消される問題である。しかし、当局は、千葉―東京間の特急利用客の需要が膨大にあることを認めながら、団交のなかでも、「成田エクスプレスの使命は、都心と空港を直結することだから、千葉駅に止めるつもりはない」「(何故千葉駅に止めないかは)会社見解をまとめるにはなじまない問題だから回答できない」と開きなおっているのである。(つづく)

実際、東京―空港間を五十三分で結ぶことを謳い文句としていながら、ラッシュ時間帯を走る、空港発七時四十五分の列車など、東京まで七十七分もかかるのである。これも自身が飽和状態のラッシュ時間帯に、このような列車を走らせることが、どだい無理であること、物語っているのである。

一編成あたり、定員にしてわずか二二八名のために通勤・通学輸送を犠牲にするなどということが許されていないはずはない

1.31 91.3.31
改正阻止
総決起集会